

中途採用の年収相場がわかる

「転職賃金相場 2020」リリースのお知らせ

民間人材サービスの業界団体からなる人材サービス産業協議会（東京都港区、理事長：水田正道、略称「JHR」）は、主要な人材紹介事業者ならびに求人メディア企業のご協力のもと、2020年4～8月の主要な職種における求人企業が提示した年収相場をとりまとめた「転職賃金相場 2020」をリリースしましたのでお知らせします。

「転職賃金相場 2020」は、主要な人材紹介事業者と求人情報提供事業者が業界を横断し調査しています。求人企業の皆さまには、より良い人材を確保するために必要な年収の目安として、求職者の皆さまには、提示された年収が適正かどうかを判断する目安として、ご活用いただけるものと考えております。

● 転職賃金相場 2020 の概要

～ ポイント ～

- 全職種において、600万円以上はマネジメント業務が多くを占めており、管理職経験等も求められる場合が多いが、技術系職種では、高年収層でもマネジメント業務がない専門職である場合が多い。
- 全職種に共通して当該職種の未経験者は、400万円未満となることが多い。
- 経理財務など企業に共通して存在する職種の高年収層では転職回数が多い傾向にある。

～ 2020年度賃金相場の特徴 ～

- 全体的に求人件数が減少し、特に中小企業を中心に中途採用を見合わせる動きがあった結果、最低年収の中央値が底上げされている。
- 買い手市場となり、企業側がより能力や経験値の高い求職者を厳選し、即戦力として採用をする傾向が強まり、相場の押し上げにつながっている。
- コロナ禍においても、IT関連の職種や地方での宅配ドライバーは需要が高く、相場が上がっている。
- 一方で、介護においては、依然として人手不足であり、異業種・異職種からの未経験者流入により相場の低下につながっている。



『転職賃金相場 2020』は、当協議会WEBサイトからどなたでもダウンロードしてご覧いただけます。

[http://j-hr.or.jp/newsrelease/****\(未定\)***/](http://j-hr.or.jp/newsrelease/****(未定)***/)

※年1回の発行を予定しており、次回は2021年12月に公表予定です。

■ 一般社団法人人材サービス産業協議会(JHR)について

当協議会は、国内の人材サービス関連業界 5 団体の横断・連携機関です。職業紹介、人材派遣、業務請負、求人広告などビジネスモデルの枠を超えて、雇用構造の変化や労働市場の新たな要請に対応し、労・使・社会のすべてにとって望ましい「健全かつ円滑な次世代労働市場の創造」を目指した取組みを推進しております。

■ 「転職賃金相場 2020」に関するお問い合わせ先

一般社団法人人材サービス産業協議会 川渕香代子

東京都港区新橋 1-18-16 日本生命新橋ビル 2F

TEL: 03-6205-7388 E-Mail: kayoko.kawabuchi@j-hr.or.jp

以上